

導入事例

Case Study

株式会社 JAL ホテルズ

様



心をほどき、心をむすぶ。
Hearts unwind, Hearts entwine.



使いやすさが受け入れられ、現場での活用が拡大 海外赴任スタッフとの共通情報基盤としても期待

ホテルオークラグループでグローバルにホテル運営事業を展開する株式会社JALホテルズ(以下、JALホテルズ)。同社は、メールをはじめとする業務基盤を見直し、「Google Apps™ for Business」とセキュアなインターネット接続サービスを導入しました。クラウド型で利用できることから、場所やデバイスに依存せず、メールやスケジュール、ドキュメント共有機能にアクセス可能。日々の業務の生産性を大きく向上しています。また、使いやすさも現場に受け入れられ、さまざまな用途に応用されています。

課題と効果

課題

1

従来のメール、グループウェアは、リモートアクセスに手間がかかるなど、使い勝手に課題を抱えていました。メールボックスの容量も限られており、画像などのやりとりが困難でした。



効果

「Google Apps™ for Business」により、場所やデバイスに依存せずメールやスケジュール、ドキュメント共有機能を利用できるようになりました。メールボックスも1人当たり25GBに拡大し、容量制限を気にせず使用できます。

2

日々の業務では、ホテル運営に関する重要情報をやりとりします。利便性を損なうことなく、セキュリティを強化したいと考えていました。



ソフトバンクテレコムが提供するオプション機能を活用し、シングルサインオンを実現。ログイン制御、ユーザーの一括管理により、高いセキュリティを確保しています。

3

従来は、図面のCADデータやパワーポイントを通常業務や出張先で閲覧したり、展開するために別途アプリケーションを用意するといった手間がかかり、情報共有がスムーズに行えませんでした。



「Google ドキュメント」は、多様なファイルがそのまま閲覧可能になり情報共有を行いやすくなりました。また、使い勝手がよいことから、現場が自発的に応用し、さまざまな用途に活用しています。



株式会社JALホテルズ
運営本部 技術企画部 (IT担当)
アシスタントマネージャー
佐藤 洋二氏

株式会社JALホテルズ
運営本部 技術企画部 (IT担当)
アシスタントマネージャー
米山 佳子氏

導入の背景 メールを中心とする業務環境の改善に着手

ホテルの運営に特化し、「ニッコーホテルズ・インターナショナル」「ホテルJALシティ」など、世界各国に55のホテルを展開するJALホテルズ。従来、同社のメール、グループウェアといった業務環境はさまざまな課題を抱えていました。「例えば、1人当たりのメールボックス容量は20MBしかなく、すぐにいっぱいになって

しまう状態でした」と同社の佐藤 洋二氏は述べます。また、社外からアクセスする場合には、パソコンに認証用ソフトのインストールが必要になるなど、現場からは改善の声が上がっていました。

選択のポイント ホテルのグローバル展開に向け多言語対応を評価

そこで、同社は複数のベンダーに提案を依頼。ソフトバンクテレコムからの提案を採用し、「Google Apps™ for Business」を導入しました。使い勝手や機能のほか、評価したのが多言語対応している点。ホテルをグローバル展開してゆくうえで、将来的に対応する必要があったからです。「また、設定の容易さ、コストパフォーマンスの高さもポイントでした」と同社の米山 佳子氏は話します。同時に、同社はネットワークもソフトバンクテレコムの「ULTINA Internet」

に刷新。その際、ホテル運営にかかわる重要な情報を保護するため、「SSO (シングルサインオン) オプション」を導入し、ログイン制御、ユーザの一括管理を行える環境を整備しています。

「『Google Apps™ for Business』とネットワーク環境をワンストップで提供してくれたのはソフトバンクテレコムだけでした」と佐藤氏はパートナー選定の理由を説明します。

導入の概要と効果 社員の自発的な利用も進み、情報共有が活性化

「Google Apps™ for Business」により、同社の業務環境は利便性を大幅に向上しています。

①「Gmail」「Google カレンダー」

外出先や出張先からでもスムーズにメールやスケジュールを確認できるようになりました。「時差のある海外赴任スタッフからのメールを待つために、オフィスに残る必要もありません」(佐藤氏)。

さらに、「SSO (シングルサインオン) オプション」により、利便性を損なうことなく高いセキュリティを確保したうえ、メールボックスの容量も25GBへと拡大しています。

②「Google ドキュメント」

現場では「Google ドキュメント」の活用が広がっています。例えば、建築士の図面は主にCADで作成されていますが、従来はその共有、展開に別途アプリケーションを用意しなければなりませんでした。その点「Google ドキュメント」は、多様なファイルの閲覧が可能。「さらに、ネットワーク帯域が限られた環境でも、容量の大きいファイルをやりとりでき、便利になったと評判です」と米山氏は話します。そのほか、「Google ドキュメント」は、社員アンケートのプラットフォーム、一斉連絡ツールとしても利用されています。

③「Google サイト」

「Google サイト」の有効活用も検討しています。例えば、総務部門やIT部門など、社員を対象にサービスを提供する部門が「Google サイト」を利用してポータルを立ち上げ、要望受付窓口として利用しようと考えているのです。

「Google Apps™ for Business」にアクセスできる端末は、1人3台までに設定。SSO (シングルサインオン) で管理しています。移行にあたっては、ソフトバンクテレコムがプロジェクトを統括。「的確なコントロールでスムーズに移行できました」と佐藤氏は満足感を示します。



今後の展開 世界中の海外赴任スタッフが同じサービスを利用して情報を共有

「Google Apps™ for Business」により、海外のホテルに赴任していても、社員全員が同じサービスを利用できます。この特長を活かし、今後、同社は情報の共有・活用環境をさらに進化させたいと考えています。

また、「iPhone」や「iPad」からも参加でき、最大120ユーザが同時に遠隔会

議を行えるクラウド型のビデオ会議システム『ホワイトクラウド ビデオカンファレンス』などは非常に魅力的。これからも、ワークスタイルの変革に向けてサポートいただきたいですね」と佐藤氏はソフトバンクテレコムへの期待を述べました。

JALHOTELS

本社：東京都品川区東品川2-4-11
設立：1970年7月1日
資本金：42億7200万円
売上高：1121億円(2010年度チェーンホテル総売り上げ)、
116億円(2010年度JALホテルズ連結総売り上げ)
従業員数：198名

事業概要：「ニッコーホテルズ・インターナショナル」と「ホテルJALシティ」の2つのホテルチェーンをグローバルに展開するホテル運営会社。ホテルの総数はチェーン全体で55ホテル、総客室数は1万7351室。従来の所有・経営型ではなく、運営に特化した「日本発のグローバルホテルオペレーター」を目指し、ホテルチェーンのさらなる拡大と顧客の利便性向上を図る。

URL：http://www.jalhotels.com/jp/